

実務経験のある教員等による授業計画書

2020 年度版

川口文化服装専門学校

2020年度 実務経験のある教員等による授業科目の授業計画書 目次

【専門課程 服装科・服飾専攻科】

服装デザイン論（服装科）	1
アパレル素材論（服装科）	2
服装造形デザイン（服飾専攻科）	3
ファッションビジネス概論（服飾専攻科）	4
ファッションデザイン画（服装科・服飾専攻科）	5

【専門課程 服装科】

(1) 服装デザイン論

担当教員：高坂 晴菜

担当教員のデザイナーとしてのデザインに関する知識・実務経験を活かし、服飾デザインにおける色彩、形態、コンポジションについての講義及び演習を通して基礎的知識と技術を身につけ、創造力、分析力を養うことを目標とする。

1年次：

- ① 服飾デザインについて
- ② デザインの定義
- ③ デザインの基礎（基礎デザイン、形・色・素材、コンポジション）
- ④ 形態（点、線、シルエット、形の見え方）
- ⑤ 色彩理論（光、眼と色、三原色と混色）

2年次：

- ① カラーシステム・カラーコーディネーション
- ② 色彩の三属性
- ③ 配色の基礎
- ④ 色の見え方
- ⑤ 素材感
- ⑥ コンポジション

年間スケジュール ※予定のため変更の可能性あり				
	1学期	2学期	3学期	授業時間数
1年次	・服飾デザインの定義 ・服飾デザインの基礎① （基礎デザイン、形・色・素材）	・服飾デザインの基礎② （演習：コンポジション） ・形態 （点、線、シルエット、形の見え方）	・色彩理論 （光、眼と色、三原色と混色）	30時間
2年次	・カラーシステム、カラーコーディネーション ・色彩の三属性 （色の体系、色相、明度、彩度、トーン、色の識別）	・配色の基礎 （色相およびトーンを基準にした配色） ・色見え （対比現象、同化現象、膨張性・進出性）	・素材感（素材・柄） ・コンポジション （全体と部分・安定と変化、プロポーション、ドミナント/セントラリティ、シンメトリー/アシンメトリー、シミラリティ/コントラスト）	30時間
● 成績評価方法：筆記試験（70%）、出席率（20%）、授業姿勢（10%）				

(2) アパレル素材論

担当教員：竹中 真喜子

教員のアパレル企業での現場・品質管理経験を活かし、以下の通り学年ごとに素材に関する知識を学ぶ。

1年次：アパレル産業の流れから繊維の種類、用途、性質などの知識の習得。

2年次：アパレルの主素材である繊維、糸、布地、布地の加工の種類、用途、性質などの知識の習得。

年間スケジュール ※予定のため変更の可能性あり				
	1学期	2学期	3学期	授業時間数
1年次	・布地の「裏・表」、 「縦・横」の見分け方 ・アパレル産業の 生産経路について ・三原組織	・アパレルの意味 ・アパレルと素材の関係	・繊維の種類と分類、用途 ・成分と構造、性質① (綿、麻)	30時間
2年次	・繊維の種類と分類、用途 ・成分と構造、性質② (糸、絹)	・繊維の種類と分類、用途 ・成分と構造、性質③ (化学繊維)	・繊維と糸製造 ・糸の種類と構造、性質 ・糸の太さと表示	30時間
● 成績評価方法：課題提出（70%）、出席率（20%）、授業姿勢（10%）				

【専門課程 服飾専攻科】

(3) 服装造形デザイン

担当教員：高坂 晴菜

教員のデザイナーとしての実務経験・知識を活かし、「服装造形理論・実習」の授業と組み合わせ、課題制作のうち“デザイン”工程の部分を中心に学ぶ。

① 服装造形の基礎知識の習得。（ニット、皮革などの特殊素材の扱い方、縫製方法）

② 1スタイルのデザイン構成でコーディネートのできる課題作品の縫製。

③ 各アイテム製作を通し服作りの技術と理論の修得。（服の構造、デザイン表現、作図理論と方法、仮縫い補正方法、素材扱い、縫製方法）

セットアップ作品、ニット、皮革作品、ショー作品を制作。

年間スケジュール ※予定のため変更の可能性あり				
	1学期	2学期	3学期	授業時間数
1年次	・エプロン ・セットアップ作品 (ジャケット、パンツ)	・ニット作品 ・小物（ポーチ） ・皮革作品 ・ショー作品	・洋裁技術検定の学習 ・ショー作品 ・ボトムス	30時間
● 課題制作物一点につき、服装造形・理論・実習を一連の流れとして授業を実施				
● 成績評価方法：課題提出（70%）、出席率（20%）、授業姿勢（10%）				

(4) ファッションビジネス概論

担当教員：竹中 真喜子

教員のアパレル企業での販売経験、実務経験を活かし、アパレル製品と企業に関する全般的知識を学ぶ。

1年次：ファッションビジネスの基礎知識を学び、アパレル産業の歴史構造・製品の流れ（流通）・様々な職種 of 知識を修得する。アパレル製品と消費者の関係を理解する。

- ① ファッションとファッションビジネス
- ② ファッションビジネスの特性
- ③ ファッションビジネスの変遷
- ④ ファッション産業の構造・流通・生産・職種

2年次：ファッション産業構造の基本的知識を修得する。ファッションビジネスの実務を学び、アパレル企業全般の基礎知識を修得する。

- ① ファッション産業の構造
（テキスタイル産業、アパレル産業、服飾雑貨産業、小売業の構造、繊維ファッション産業を支援する産業と機関）
- ② ファッションビジネスの実務
（アパレル企業、ファッション小売業の義務と職種、マーケティングの基礎知識）

年間スケジュール ※予定のため変更の可能性あり				
	1学期	2学期	3学期	授業時間数
1 年 次	・エプロン ・セットアップ作品 （ジャケット、パンツ）	・ニット作品 ・小物（ポーチ） ・皮革作品 ・ショー作品	・洋裁技術検定の学習 ・ショー作品 ・ボトムス	30時間
● 課題制作物一点につき、服装造形・理論・実習を一連の流れとして授業を実施 ● 成績評価方法：課題提出（70%）、出席率（20%）、授業姿勢（10%）				

【服装科・服飾専攻科 共通】

(5) ファッションデザイン画

担当講師：野溝 円香

教員の絵画教室での指導経験を活かし、ファッションデザイン画における基本的な体型・技術の習得を目的とした講義を行う。

- ① 基本的な体型～着装時の表現
- ② オリジナルデザインの発想方法
- ③ 四季に合わせたアイテムのコーディネートデザインの表現

※学年ごとに描き方や発想方法をレベルアップする。

- ④ デザイン画コンテストへの出品作品の作成

年間スケジュール ※予定のため変更の可能性あり				
	1 学期	2 学期	3 学期	授業時間数
服装科 1 年次	<ul style="list-style-type: none"> ・ヌード、基本体型 ・着衣スタイル (ワンピース、テラードジャケット、ベスト) ・画材研究 (マーカー) ・着てみたいスタイル ・モチーフデザイン ・ファッション画コンクール作品 (B3) ① 	<ul style="list-style-type: none"> ・ファッション画コンクール作品 (B3) ② ・着衣スタイル (ニット、ファー、コート) ・画材研究 (色鉛筆) ・クラッシュジーンズ ・パーティーウェア ・模写 	<ul style="list-style-type: none"> ・ショー作品 ・フォーマルウェア ・〇〇のためのデザイン ・2021 春夏トレンド ファッション予測 	30 時間
服装科 2 年次 ・専攻科	<ul style="list-style-type: none"> ・オリジナルデザイン ・制作意図 ・モチーフデザイン ・ファッション画コンクール作品 (B3) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ファッション画コンクール作品 (B4) ・着衣スタイル (ニット、ファー、コート) ・画材研究 (色鉛筆) ・クラッシュジーンズ ・卒業制作 ドレス ・模写 	<ul style="list-style-type: none"> ・ショー作品 ・フォーマルウェア ・コラージュ ・2021 春夏トレンド ファッション予測 	服装科 30 時間 服飾専攻科 20 時間
● 成績評価方法：課題提出 (70%)、出席率 (20%)、授業姿勢 (10%)				